

当初予算編成に向けた会派要望

当初予算について、県政運営計96項目、各地域個別要望計96ヶ所を要望しました。
(以下、安芸区に係る主なもの抜粋)

- 広島市南区黄金橋付近の渋滞緩和対策と、バイパスと海田大橋の早期接続
- 西日本豪雨災害にて越水した瀬野川（貫道橋出迎え松付近）の護岸嵩上げの早期実施と計画的な浚渫
- 番賀川上流で生い茂っている草木ならびに岩石の撤去
- 中野東6丁目（城平川）の砂防堰堤の早期設置
- 矢野東3丁目（月が丘団地）の急傾斜地の崩落対策
- 海田大橋の利用促進（無料化）
- 東広島・安芸バイパス開通に伴う交通量増加に対する周辺住宅地への騒音対策（海田～中野）
- 県立安芸南高等学校のグランドの土の入れ替え

*お困りごとがあればいつでも事務所へご連絡ください。これは県の事業ではないかもと思われることでも、どんな些細な事でも結構です。皆様からご意見をいただき、行政へ届けることが議員の仕事です。ご連絡お待ちしております。

イベント告知

第8回 上野かんじと語る「安芸区の未来サロン」

皆さんぜひご参加ください。
上野と一緒に
安芸区の未来を
語り合いましょう！

日時 2026年3月28日(土) 10:30～11:30

場所 安芸区民文化センター 4階会議室B
(広島市安芸区船越南3丁目2-16 TEL: 082-824-1330)

参加
無料
予約
不要

会場がいつもと違いますのでご注意ください！



かんGメール

～上野を身近に感じていただくお便り的なコーナー～

私事ですが、第二子が生まれました！



昨年末、我が家に元気な女の子が誕生しました。5年前、息子が産まれた時はコロナ禍で一切許されなかった立ち合いと面会。今回は誕生直後の我が子との対面が実現しました！命の重みを実感しています。命がけで頑張ってくれた妻と娘に感謝です。この子たちがこれから生きていく安芸区を、広島県を、より良くするためにこれからも全身全霊で頑張ってまいります！子育ても頑張るぞ！

上野かんじ PROFILE

1982年 広島生まれ、二児の父
なごさ中・高、NZロングバーン・
アドベンティスト・カレッジ（高校）、
明治大学、英エディンバラ大学院、
パイオニア（海外営業部）、JICA青年海外協力隊、復興庁（気仙沼市）、
生活相談員（介護）を経て、2023年
広島県議会議員選挙に初当選。

資格 浄土真宗本願寺派 萬福寺 副住職
英語（TOEIC 940点）
全国通訳案内士
社会福祉主任用資格
趣味 ドラム、サウナ
温泉めぐり

上の上へ！安芸クオリティ！ 変わるけん！広島県!!

お困りごとなどがあれば、ご遠慮なくご相談ください。
TEL 082-847-4150
【事務所開設日】毎週 月曜・火曜・木曜 10時頃～14時頃
* 上記時間以外で御用の方はお電話にてご一報ください。



広島県議会議員（安芸区）無所属

2026年1・2月号

上野かんじ

Vol.12



〒739-0321 広島市安芸区中野三丁目2番16号
TEL 082-847-4150 FAX 082-847-4151
E-mail ueno.kanji.politics@gmail.com
URL https://www.uenokanji.com/

県議会レポート

発行

12月議会のご報告

横田新知事就任後、初の12月定例会が12月10日から22日まで開催されました。今回の補正予算の編成は牡蠣のへい死対策、物価高・米国関税措置への対応と、県内の産業や県民生活にとって喫緊の課題に対しての予算措置となっています。

私は9月議会以降、4年に一度の決算特別委員会の委員に指名され、10月・11月の2ヶ月間、決算の審議をしてまいりました。4期16年の湯崎県政の総括ということで、広島県が今抱える課題と県政の転換について質問しておりますので、本レポートにてお伝えいたします。

●一般会計

令和7年度 12月補正予算

460億円余
(累計予算 約1兆1,460億円余)

主な施策

牡蠣のへい死対策

50
億円余

- 牡蠣養殖業経営体への運転資金の融資 融資枠30億円（無利子）
- 再生産（牡蠣筏）のための経費支援 20億円
- へい死実態調査事業 500万円

物価高・米国関税措置 への対策

126
億円余

- 物価高騰に係る医療・介護等事業者支援 105億円余
- LPガスの価格支援（1～3月） 10億円余
- 物価高・米国関税等による厳しい環境下にある製造業等への製品開発支援 5億円

広島高速2号線の4車線化（仁保～東雲）&
東雲ICの南向きランプ整備（フルIC化）



総事業費 320億円
令和19年度供用開始予定

その他については県のHPをご覧ください。

意見書

“非核三原則の堅持を求める意見書が採択！”

安全保障関連三文書の改定に向けた議論が与党内で開始されていることから、広島県議会として非核三原則を堅持することを改めて国に要望しました。

他、
採択された
意見書本文は
こちら ➔



決算特別委員会

以下の日程で部局別審査を行いました。

総括審査の
インターネット中継の
収録動画はこちら



9月29日(月) 運営方針等協議

10月14日(火) AM: 総務局・人事委員会・局外 PM: 地域政策局

▶外国人材の受入・共生対策事業について、地域住民への外国人に関する情報提供の視点が弱いと指摘。

10月15日(水) 教育委員会

▶多額の公金(県税)が使われている叡智学園について、県内生枠を設けることを提案。

10月24日(金) 商工労働局

▶県産品販路拡大支援事業については、フランス一辺倒を改めて欧州物流の拠点であるオランダなどに発展的展開をすることを提案。

▶岡山県や香川県に比べて一人当たりの観光消費額が低い広島県。日帰りではなく泊まつてもらう観光施策を展開することを要望。

10月27日(月) AM: 危機管理監・環境県民局 PM: 健康福祉局

▶東京・大阪にある在外事務所を利用して県内大学進学誘致を提案。

▶児童虐待相談所のマンパワー不足解消のため、AIを使った子どもの予防的支援の拡充を要望。

10月28日(火) 公安委員会

10月29日(水) 農林水産局

▶野生鳥獣による農作物被害を減らす市町横断的組織テゴスについて、参画市町を増やすことを要望。

10月31日(金) 土木建築局・上下水道部

▶人口減少社会に対応した流域下水道施設の統廃合と老朽化対策を要望。

11月20日(木) 総括審査・表決

▶総括審査では、答弁込みで20分間の持ち時間があります。部局別審査で質疑した内容を更に深堀する質問を右記の通り行いました。

- ・叡智学園の波及効果について
- ・テゴスの枠組みを利用した熊対策について
- 【3P本文掲載】
- ・流域下水道事業における管理運営の見直しについて
- ・外国人観光客の一人当たり観光消費額向上について

Q テゴスとは?



A 広島弁で「手伝う」を意味する「てごうする」から名付けられた広島県が運営する「鳥獣被害対策専門のプロフェッショナル組織。正式名称は「一般社団法人 広島県鳥獣対策等地域支援機構」といいます。県内の市町や農家に対して、効果的な防護柵の設置指導や、集落ごとの対策プラン作り、捕獲の技術指導などを行なっています。都道府県が音頭をとってこのような「鳥獣対策のプロ組織」を作るのは、全国で初めての取り組みです(2024年4月本格稼働)。

テゴスの枠組みを利用した熊対策について

質疑
(上野)

中国地方における熊の生息範囲は1999年度と比較して、2020年度は1.6倍近く広がっており、個体数も増加しております。広島県でも今年1件の熊による人身被害があり、多数出没が目撃されています。西日本では今年はドングリなどが凶作ではありませんでしたが、来年はどうなるか分かりません。もし凶作となれば今年の東日本のように被害が拡大するかもしれません。よって、今から対策を考えるべきです。



カナダ、ブリティッシュコロンビア州では、ペアスマートという仕組みを導入しておりまして、人間と熊の衝突を減らし、共存を目指すための包括的なプログラムを実行しております。柿の木の伐採やごみの管理など、熊を誘引する要因を管理することで、熊が人間の居住地に近づくのを防ぎ、熊の殺処分を減らすことを目的としています。このプログラム、単に熊に注意しましょうというレベルを超えて、地域全体で具体的な行動計画を策定し、実行していく点が特徴です。

現在、国において、ガバメントハンターの採用などの検討がされていますが、捕獲と同時並行で、ペアスマートのような環境整備の両輪で熊対策を進めていかなければなりません。そこで提案です。各市町を横断的に、活動しているテゴスに環境整備のための熊対策を行ってはどうかと考えますが、環境県民局長の見解をお伺いします。

答弁
(環境県民局長)

市街地等に出没しない環境づくりにつきましては、テゴスとの連携を図っており、参画している市町へ要請を受けたテゴスの専任職員が、農作物の被害防止の一環として、農地や集落に熊を寄せ付ける原因となっている放任果樹の除去や侵入防止対策の指導を行うことで、熊による人身被害の未然防止にも高い効果が得られるものと考えております。

近年、県内各地での熊の目撃情報が発生している中で、これらの対策を全県で講じていく必要があると認識しており、県といたしましては、まずはテゴス本部の支援体制の強化を図るとともに、テゴスへの参画市町における活動実績を積み重ねつつ、参画市町を増やし、広域的な取組の効果を発揮させたいと考えております。

また、市街地等に出没した際の対応につきましては、市町や獵友会、警察、地元関係者が連携し、安全に対処できるよう、追い払いや捕獲時の事故を防ぐための研修などを行うとともに、熊の出没状況に基づき、クマレンジャーによるパトロールや追い払いを行なっているところでございます。加えて、本年9月に創設された緊急銃猟制度を含めた出没時の対応や普及啓発についても、県内全域を対象とした研修会や訓練等を通じて、市町間の情報共有や連携を図っているところでございます。

意見
要望
(上野)

農林水産局、環境県民局と縦割りで考えることなく、どう共存していくかという熊対策を県民目線で進めていってもらいたいと思います。もう一つ熊出没情報についての提案があります。他県(山口県・岡山県)では、地図上で熊の出没情報を示し、熊の目撃情報や捕獲された場所など、視覚的に理解できるツールがあります。しかしながら、広島県内においては、熊出没情報はどれも文字情報のみで位置が特定しづらいです。よって、地図上で、出没情報が分かるように各部局をまたいで、今後検討していただきたいと思います。